

2016年度以降のカリキュラム適用者

『リベラルアーツ学群専攻プログラム履修モデル集』について

リベラルアーツ学群では、2年次春学期から、専門科目の履修が本格的に始まります。この冊子は、みなさんが専門科目の履修を行っていくためのガイドとして編集したものです。

この冊子は、各専攻プログラムの「履修の手引き」と「履修モデル」から構成されています。

●履修の手引き

- ・「履修の手引き」には、各専攻プログラムから履修のしかたについてのメッセージが載せられています。ある程度自分の志望する専攻プログラムが絞れている人は、それらのメッセージを参考にして履修を行って下さい。
- ・とくに、専攻プログラムのカリキュラム構成が「積み上げ型」か「自由履修型」かで、1・2年次の望ましい履修のあり方が違ってきますので、その点を注意するようにして下さい。

●履修モデル

- ・「履修モデル」とは、各専攻プログラムの科目をどのように履修していったらよいかを、例として示したものです。各専攻プログラムを修了するためには32～36単位の科目を修得することが必要ですが、どの専攻プログラムも、それをほかに上回る数の科目を準備しており、みなさんが、その専門分野の中でさらにテーマを絞った履修ができるようになっています。「履修モデル」とは、そうしたモデル・カリキュラムの例を示したものです。
- ・各専攻プログラムの「履修モデル」ページには、その専攻プログラムの全科目をカテゴリーとレベルに応じて分類表示したマトリックスを記載しています。その中で「◎」のついている科目はメジャーの必修科目（教職モデルの場合は、教科に関する科目の必修科目）です。また、「○」のついている科目は、その履修モデルに該当する推奨科目です。
- ・また、「その他の推奨科目」には、その専攻プログラム科目以外のお勧めの科目を記載してあります。
- ・リベラルアーツ学群には、33の専攻プログラム、およびマイナープログラムがありますが、この冊子には、各専攻プログラムから提示された「履修モデル」が掲載されています。自分の関心ある専攻プログラムの「履修モデル」をよく読んで、科目履修の参考にして下さい。

この『履修モデル集』は、みなさんが自分の学習計画を立てる際の目安として作成したものであり、このように履修することを義務付けているわけではまったくありません。むしろ私たちは、みなさんが、Independent Learnerとして、自分の関心と視点に立って、独自の「履修モデル」を作成することを期待しています。

リベラルアーツ学群の科目編成はきわめて自由であり、内容を絞る、いろいろな分野を組み合わせる、その専門分野のさわりを学ぶ、など、さまざまな組み立て方が可能です。ぜひみなさんも、独自のテーマ性をもって自分の学習に取り組んでいって下さい。そして、「履修モデル」を通じたリベラルアーツ学群ならではの新しい学びの世界を、ともに切り開いて行きましょう。

リベラルアーツ学群教員一同

環境学専攻プログラム

履修のしかた

- 環境学は積み上げ型ではないので、先修条件を課している科目は少ない。多くの科目を2年次に履修することができるが、基本的には基礎、専門、発展と履修するのが望ましい。
- 1年次で履修可能な専攻科目「環境と文明」(秋学期開講)は1年次で履修するのが望ましい。
- 科目によっては隔年開講のものがあるので、各年度の授業時間割表により、開講を確認すること。

他の専攻プログラムとの関係

- 環境学は総合的な学問であり、個々の興味や関心に応じて、マイナーを組み合わせることができる。
例えば：
 - 環境の普及啓発や環境広告に関心があるなら：コミュニケーション学、心理学
 - 環境問題の思想的背景に関心があるなら：キリスト教学、宗教学、哲学、倫理学
 - 環境と文明の興亡や文化的背景に関心があるなら：歴史学、文化人類学、地域研究
 - 環境問題の解決に向けた国際協力に関心があるなら：国際関係、国際協力
 - 環境問題の解決に向けた政策や市場メカニズムに関心があるなら：公共政策、国際経済
 - 環境問題の原因と社会のありように関心があるなら：社会学
 - 環境科学に関心があるなら：物理学、化学、生物学、地球科学
 - 地球環境シミュレーションや環境情報システムに関心があるなら：数学、情報科学
 - 環境問題を報道を通じて伝えたいなら：メディア（ジャーナリズム）
 - 環境教育に関心があるなら：教育学（教職課程）

留学・教職その他

- 東京都の認定資格であるECO-TOPプログラムを修得したい場合は、メジャー認定単位に加えて、インターンシップを含む指定された科目を履修することが必要である。インターンシップは2年次学期から3年次春学期の休業期間に実施することを念頭に短期留学などを考えること。
- 海外留学をする場合、早めに必要な科目を履修しておくことが望ましい。

学生へのメッセージ

今、どんな環境問題が起こっているのか？何が原因でどうすれば解決できるのか？環境問題に単純明快な答はありません。そこが環境学のややこしくておもしろい点です。環境学は社会経済・自然科学・文化・健康など人間に関わるほとんどの問題と絡み合うため、総合的に学べるLA学群ならではの学問です。

また、環境学の知識は社会に出てからどんな仕事でも活かれますし、必須でもあります。また私たちの日常生活とも密接に関連します。

環境を学ぶということは、「つながりに気づき、自ら行動する」ことに他なりません。専攻演習では現場に立って環境問題を考え、体験や実践を通じて自ら行動する力を養います。キャンパスを題材にすることもあってしょう。環境を学ぶことを通じて得られる洞察力や行動力は皆さんの大きな力となることでしょう。

環境学専攻プログラム

1 社会・人文科学を中心とした履修モデル

環境学は総合的な学問であるので、文系・理系にとらわれず幅広く学ぶことが望ましいものですが、この履修モデルは、環境学を社会科学、人文科学を中心に学んでいく場合の履修科目の例を示したものです。法学、経済学、社会学、国際関係などとあわせて学ぶことで、将来、行政や企業、NPO/NGOにおいて事務職として活動する際に活かすことができるでしょう。

環境学専攻プログラム科目

level カテゴリー	1000				2000				3000				4000			
	推奨	科目コード	科目名	単位	推奨	科目コード	科目名	単位	推奨	科目コード	科目名	単位	推奨	科目コード	科目名	単位
基礎	○	ENV1001L	環境と文明 ※	4	○	ENV2050L	文系のための環境科学 ※	2								
					○	ENV2040L	環境とまちづくり ※	2								
					○	ENV2041L	環境と地域 ※	2								
					○	ENV2310L	環境とキリスト教	2								
						SOC2020L	社会統計基礎	2								
専門						ENV2311L	エネルギーと環境 ※	2		SOC3020L	社会統計学	2				
						ENV2350L	人と自然 ※	2		ENV3400L	野外安全管理 ※	1				
						ENV2351L	環境生物学 ※	2		MED3400L	救急救命演習 ※	1				
					○	CHM2270L	化学と人間社会 ※	2								
						CHM2260L	環境化学 ※	2								
					○	ENV2151L	地球規模環境論Ⅰ ※	2								
						ENV2152L	地球規模環境論Ⅱ ※	2								
						ENV2352L	感覚公害論 ※	2								
					○	ENV2360L	環境リスク論 ※	2								
						ENV2030L	人間環境学 ※	4								
					○	ETH2360L	環境倫理学 ※	2								
						ENV2010L	環境思想概論	2								
					○	ENV2331L	江戸から学ぶ環境 ※	2								
						ENV2300L	エコロジー・デザイン特殊講義	2								
					○	ENV2330L	環境ビジネス論 ※	2								
						ENV2340L	国際環境交渉論 ※	2								
					ENV2400L	ECO-TOPインターンシップ事前研修 ※	1									
					ENV2401L	ECO-TOPインターンシップ事後研修 ※	1									
					ENV2601L	ECO-TOPインターンシップⅠ ※	2									
					ENV2602L	ECO-TOPインターンシップⅡ ※	2									
発展										BIO3041L	生態学Ⅰ ※	2		ESC4370L	海洋学 ※	2
										BIO3042L	生態学Ⅱ ※	2		ESC421*L	地球科学演習 ※	2
										CHM3150L	生体物質化学 ※	2		ENV4900L	環境科学総合演習 ※	2
									○	ECO3190L	環境経済論 ※	4				
									○	LAW3180L	環境法学 ※	4				
										ENV3141L	都市環境政策Ⅰ ※	2				
										ENV3142L	都市環境政策Ⅱ ※	2				
									○	ENV3120L	環境教育論 ※	2				
										ETH3370L	環境・生命・人権の哲学 ※	2				
									○	SOC3350L	環境社会学 ※	4				
									○	ENV3143L	環境マネジメント論 ※	2				
										ENV3380L	資源循環論	4				
										ENV3230L	社会環境調査法 ※	2				
										ENV3250L	自然環境調査法 ※	2				
									ENV3330L	食品安全論 ※	2					
								○	ENV3331L	環境NPO・NGO ※	2					
									ENV3332L	社会環境と知的財産	2					
									ECO3390L	資源・エネルギー論	4					

※ECO-TOP科目

その他の推奨科目 下記〔〕内は単位数

- ・専攻演習Ⅰ〔2〕
- ・専攻演習Ⅱ〔2〕
- ・卒業論文〔4〕

環境学専攻プログラム

2 自然科学系を中心とした履修モデル

環境学は総合的な学問であるので、文系・理系にとらわれず幅広く学ぶことが望ましいのですが、この履修モデルは、環境学を、自然科学を中心に学んでいく場合の履修科目の例を示したものです。

自然科学系科目が中心ですが、環境学の自然科学系科目は、文系の学生が履修可能な内容を提供しています。苦手意識を持たずに履修を試みましょう。地球物理学、化学、生物学などとあわせて学ぶことで、将来、行政や企業、NPO/NGOにおいて技術職として活動する際に活かすことができるでしょう。

環境学専攻プログラム科目

level カテゴリ	1000				2000				3000				4000			
	推奨	科目コード	科目名	単位	推奨	科目コード	科目名	単位	推奨	科目コード	科目名	単位	推奨	科目コード	科目名	単位
基礎	○	ENV1001L	環境と文明 ※	4	○	ENV2050L	文系のための環境科学 ※	2								
					○	ENV2040L	環境とまちづくり ※	2								
						ENV2041L	環境と地域 ※	2								
						ENV2310L	環境とキリスト教	2								
						SOC2020L	社会統計基礎	2								
専門					○	ENV2311L	エネルギーと環境 ※	2	○	SOC3020L	社会統計学	2				
					○	ENV2350L	人と自然 ※	2		ENV3400L	野外安全管理 ※	1				
						ENV2351L	環境生物学 ※	2		MED3400L	救急救命演習 ※	1				
						CHM2270L	化学と人間社会 ※	2								
					○	CHM2260L	環境化学 ※	2								
					○	ENV2151L	地球規模環境論Ⅰ ※	2								
						ENV2152L	地球規模環境論Ⅱ ※	2								
					○	ENV2352L	感覚公害論 ※	2								
					○	ENV2360L	環境リスク論 ※	2								
						ENV2030L	人間環境学 ※	4								
						ETH2360L	環境倫理学 ※	2								
						ENV2010L	環境思想概論	2								
						ENV2331L	江戸から学ぶ環境 ※	2								
						ENV2300L	エコロジー・デザイン特殊講義	2								
						ENV2330L	環境ビジネス論 ※	2								
					ENV2340L	国際環境交渉論 ※	2									
					ENV2400L	ECO-TOPインターンシップ事前研修 ※	1									
					ENV2401L	ECO-TOPインターンシップ事後研修 ※	1									
					ENV2601L	ECO-TOPインターンシップⅠ ※	2									
					ENV2602L	ECO-TOPインターンシップⅡ ※	2									
発展										BIO3041L	生態学Ⅰ ※	2		ESC4370L	海洋学 ※	2
										BIO3042L	生態学Ⅱ ※	2		ESC421*L	地球科学演習 ※	2
										CHM3150L	生体物質化学 ※	2		ENV4900L	環境科学総合演習 ※	2
									○	ECO3190L	環境経済論 ※	4				
										LAW3180L	環境法学 ※	4				
										ENV3141L	都市環境政策Ⅰ ※	2				
										ENV3142L	都市環境政策Ⅱ ※	2				
										ENV3120L	環境教育論 ※	2				
										ETH3370L	環境・生命・人権の哲学 ※	2				
									○	SOC3350L	環境社会学 ※	4				
									○	ENV3143L	環境マネジメント論 ※	2				
										ENV3380L	資源循環論	4				
									○	ENV3230L	社会環境調査法 ※	2				
								○	ENV3250L	自然環境調査法 ※	2					
								○	ENV3330L	食品安全論 ※	2					
									ENV3331L	環境NPO・NGO ※	2					
									ENV3332L	社会環境と知的財産	2					
								○	ECO3390L	資源・エネルギー論	4					

※ECO-TOP科目

その他の推奨科目 下記〔〕内は単位数

- ・専攻演習Ⅰ〔2〕
- ・専攻演習Ⅱ〔2〕
- ・卒業論文又は卒業研究〔各4〕